

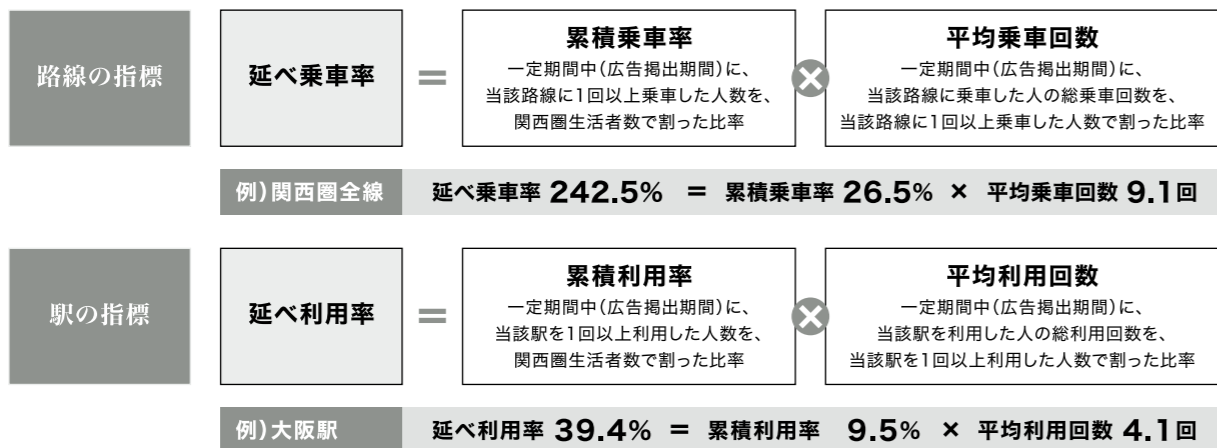
用語説明 / 調査概要

■交通広告効果指標の用語説明

1	関西圏生活者	京阪神通勤圏(2府4県主要地域)(大阪全域、京都・滋賀・兵庫・奈良・和歌山の一部)居住の12歳(中学生)～74歳男女
2	累積乗車率	一定期間中(広告掲出期間)に、当該路線に1回以上乗車した人数を、母数で割った比率
3	平均乗車回数	一定期間中(広告掲出期間)に、当該路線に乗車した人の総乗車回数を、当該路線に1回以上乗車した人数で割った比率
4	延べ乗車率	一定期間中(広告掲出期間)に、当該路線に乗車した人の延べ乗車人数の比率：累積乗車率×平均乗車回数
5	平均乗車時間	当該路線に乗車した人たちの1日の総乗車時間を、総乗車回数で割った時間
6	路線流入	他路線から当該路線に乗車してきた人数を、当該路線乗車人数で割った比率
7	路線流出	当該路線から他路線に乗車する人数を、当該路線乗車人数で割った比率
8	累積利用率	一定期間中(広告掲出期間)に、当該駅を1回以上利用した人数を、母数で割った比率
9	平均利用回数	一定期間中(広告掲出期間)に、当該駅を利用した人の総利用回数を、当該駅を1回以上利用した人数で割った比率
10	延べ利用率	一定期間中(広告掲出期間)に、当該駅を利用した人の延べ利用人数の比率：累積利用率×平均利用回数

■延べ乗車率・延べ利用率の考え方

関西圏生活者のうち、どれだけの人が路線や駅を利用しているかという、露出効果の指標として「路線乗車率」と「駅利用率」に基づく「延べ乗車率」、「延べ利用率」があり、それぞれ下記の考え方により算出されます。



※例)は掲出期間を1週間とした場合
「2019年度関西圏移動者調査」((株)ジェイアール東日本企画調べ、協力:(株)JR西日本コミュニケーションズ)

■調査概要

① 「2019年度関西圏移動者調査」	
調査主体	(株)ジェイアール東日本企画調べ、協力:(株)JR西日本コミュニケーションズ
調査エリア	京阪神通勤圏(2府4県主要地域)(大阪全域、京都・滋賀・兵庫・奈良・和歌山の一部)
実施時期	2019年5月25日(土)～6月2日(日)
調査対象	12歳(中学生)～74歳男女
調査方法	インターネット調査
抽出方法	層化一段抽出(性年代・居住エリアで層化:関西圏156区分)
有効回収数	関西圏:8,427サンプル

対象路線一覧				
JR西日本利用者の対象路線 (調査期間中に 週1回以上JR西日本 を利用した人)	関西圏全線(中ぶり全線)			
	東海道・山陽線群		環状・関西・阪和線群	
	普通	快速	普通	快速
北陸線	-	北陸線(米原～敦賀間)	-	-
湖西線	-	湖西線(京都～近江塩津間)	-	-
草津線	-	草津線(草津～柘植間)	-	-
琵琶湖線(東海道線)	-	琵琶湖線(京都～米原間)	-	-
JR京都線(東海道線)	JR京都線(京都～大阪間)	JR京都線(京都～大阪間)	-	-
嵯峨野線(山陰線)	-	嵯峨野線(京都～福知山間)	-	-
JR神戸線	JR神戸線(大阪～加古川間)	JR神戸線(大阪～姫路間)	-	-
山陽線	-	山陽線(姫路～上郡間)	-	-
大阪環状線	-	-	大阪環状線	大阪環状線
JRゆめ咲線	-	-	JRゆめ咲線(西九条～桜島間)	-
JR宝塚線(福知山線)	JR宝塚線(尼崎～篠山口間)	福知山線(尼崎～福知山間)	-	-
大和路線(関西線)	-	-	大和路線(加茂～JR難波間)	大和路線(加茂～JR難波間)
阪和線	-	-	-	阪和線(天王寺～和歌山間)
関西空港線	-	-	-	関西空港線(日根野～関西空港間)
JR東西線	JR東西線(尼崎～京橋間)	-	-	-
学研都市線(片町線)	学研都市線(京橋～木津間)	-	-	-
おおさか東線	おおさか東線(新大阪～久宝寺間)	-	-	おおさか東線(新大阪～久宝寺間)
奈良線	-	-	奈良線(京都～奈良間)	奈良線(京都～奈良間)
万葉まほろば線	-	-	-	万葉まほろば線(奈良～桜井～王寺間)
和歌山線	-	-	-	和歌山線(王寺～五条間)
紀勢線	-	-	-	きのくに線(和歌山～周参見間)
赤穂線	-	赤穂線(相生～播州赤穂間)	-	-
加古川線	-	-	-	-
姫新線	-	-	-	-
播但線	-	-	-	-

※JR西日本利用者は、新幹線(山陽新幹線)は含まないが、はるか等の特急は含んでいる。
※走行路線は2022年12月時点のダイヤによる。

② 「交通広告効果測定調査」

調査主体	(株)JR西日本コミュニケーションズ
調査対象者	車両メディア:調査日当日に対象路線を利用した近畿2府4県に居住する15～59歳男女(WESTビジョンは当該路線のWESTビジョン搭載車両利用者) 駅メディア:調査日当日の対象駅スポット通行者
調査方法	インターネット調査
調査期間	車両メディア:2014年度～2019年度、駅メディア:2018年度、2019年度、2021年度
調査対象ユニット	車両メディア:中ぶり(シングル・ワイド)、まど上ポスター、ドア横ポスター、ステッカー(ドア横ステッカー・ツインステッカー)、WESTビジョン 駅メディア:大阪駅の主要媒体を対象に調査 デジタルサイネージ(同期型・大型)、SP(シート・柱巻き)、駅ポスター(ジャンボ・その他)
調査素材数	車両メディア:528素材、駅メディア:68素材
調査数	車両メディア:各ユニットの1素材あたり300サンプル、駅メディア:各ユニットの1素材あたり100サンプル

③ 「京阪神JR主要駅流動調査」

調査主体	(株)JR西日本コミュニケーションズ	
調査方法	主要ポイントの通行者をカウンターで計測	
調査駅	大阪駅、天王寺駅、三ノ宮駅、京橋駅	2019年度(2019年12月～2020年2月)実施
	京都駅、新大阪駅、姫路駅、茨木駅	2018年度(2019年2月～4月)実施
	高槻駅、鶴橋駅	2016年度(2017年2月)実施
	元町駅、明石駅	2015年度(2016年2月～3月)実施
	尼崎駅、神戸駅	2014年度(2015年2月)実施

④ 「新幹線ユーザープロフィール調査2019・2021」

調査主体	(株)ジェイアール東海エージェンシー/(株)JR西日本コミュニケーションズ
実施時期	2021年10月(2019年10月)
調査方法	インターネット調査
調査対象	東海道新幹線または山陽新幹線を半年に1回以上利用(2019年:1ヶ月に1回以上利用)
サンプル数	東海道新幹線ユーザー:2000サンプル、山陽新幹線ユーザー:1000サンプル